

青色申告 Excel 記帳ファイルシリーズ 「初心者さんの青色申告」のあらかし

～ このファイルシリーズの現金・預金ならびに現金出納帳・預金出納帳管理の原則 ～

■ 現金は個人用・事業用を独立した財布に分けて管理

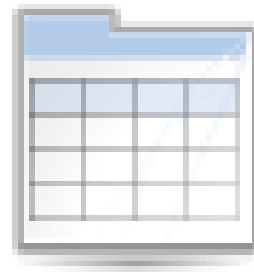
事業用の財布



残高は常に一致



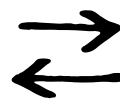
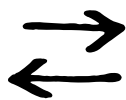
現金出納帳



- 万が一、事業用の財布が手元がないときに、事業に関する現金の受け取り・支払いがあった場合
逆に個人の財布が手元がないときに、個人の現金の受け取り・支払いがあった場合

当日のうちに現金を移す = 記帳なし

個人の財布



事業用の財布



- 事業に関する現金の受け取り・支払いがあった日
必要な帳簿に記帳
(例) 1月 15 日 コピー用紙 500 円分を現金で購入
事務用品費 500 / 現金出納帳 500

- 個人の現金の受け取り・支払いがあった日
記帳なし

■預金口座はすべて事業用として管理

この管理方法を導入した理由:

事業に関わる入出金の発生する口座が複数あり、

事業専用で使用している口座と

個人使用分の入出金も含まれる口座があり、

それぞれを「個人用口座」「事業用口座」として管理すると、

同じ種類の取引であっても、事業主借／事業主貸で処理が逆になり紛らわしいため。

この原則に含まれる口座の性質:

①純粹に事業に関する入出金しかない口座

②個人分の入出金もある口座

①純粹に事業に関する入出金しかない口座

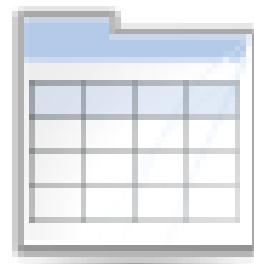
預金通帳・明細



残高は常に一致

=

預金出納帳



●事業に関する入出金

発生した日ごとに必要な帳簿に記帳

(例) 1月 20 日 2,000 円の書籍を購入し、代金を振り込み (振り込み手数料 210 円、送料 300 円)

新聞図書費 2,300 / 預金出納帳 2,510

支払手数料 210

②個人分の入出金もある口座

預金通帳・明細

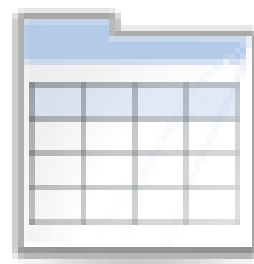


月途中には残高が
一致しないことも

≠

月の間に発生した
個人分の入出金は
月末に事業主借／事業主貸を
使って記帳する

預金出納帳



●事業に関する入出金

発生した日ごとに必要な帳簿に記帳

(例)1月20日 2,000円の書籍を購入し、代金を振り込み(振り込み手数料200円、送料300円)

新聞図書費 2,300 / 預金出納帳 2,500

支払手数料 200

●個人分の入出金

毎月末日に事業主借/事業主貸として記帳

(例)1月の預金通帳

日付	摘要	入金	出金	残高
1	前月より繰越	10,000		10,000
7	(個)コンサートチケット購入代金振り込み		5,000	5,000
12	(事)〇〇様より商品代金の振り込み	15,000		20,000
14	(個)食器を購入し代金を振り込み		3,000	17,000
20	(事)書籍を購入し代金を振り込み		2,500	14,500
25	(事)12月分電気料金引き落とし		2,000	12,500
		25,000	12,500	12,500

(例)1月の預金出納帳

日付	摘要	入金	出金	残高
1	前月より繰越	10,000		10,000
12	(事)〇〇様より商品代金の振り込み	15,000		25,000
20	(事)書籍を購入し代金を振り込み		2,500	22,500
25	(事)12月分電気料金引き落とし		2,000	20,500
31	1月個人分入出金計		8,000	12,500
		25,000	12,500	12,500

1月中の預金に関する記帳

1月 12日	〇〇様より商品代金の振り込み	売掛帳	15,000	/	預金出納帳	10,000
1月 20日	書籍を購入し代金を振り込み	新聞図書費	2,300	/	預金出納帳	2,500
		支払手数料	300			
1月 25日	12月分電気料金引き落とし	未払金帳	2,000	/	預金出納帳	2,000
1月 31日	1月個人分入出金計	事業主貸	8,000	/	預金出納帳	8,000

↑

月の間に発生した個人分の入金の方が個人分の出金より多ければ、月末に事業主借を使って記帳する

(例)個人分の入金が個人分の出金より多い場合の記帳

1月 31日	1月個人分入出金累計	預金出納帳	8,000	/	事業主借	8,000
--------	------------	-------	-------	---	------	-------

